

平成 3 1 年 3 月

結城市教育委員会定例会議事録

結城市教育委員会

平成31年3月結城市教育委員会定例会

○日 時 平成31年3月26日（火曜日）

○場 所 駅前分庁舎 教育委員会会議室

○出席委員 小林仁教育長

中村義明教育長職務代理者

北嶋節子委員

岩崎勤委員

○教育委員会事務局

教育部長 鶴見俊之

学校教育課長 佐山敦勇，指導課長 鶴見力男

生涯学習課長 田中真一，

スポーツ振興課スポーツ振興係長 仁見 剛

学校教育課学務係長 石井智之

1 付議事件

なし

2 付議事項

(1) 議案第6号 結城市文化財保護審議会委員の委嘱について <非公開>

(2) 議案第7号 結城市スクールソーシャルワーカーの委嘱について <非公開>

(3) 議案第8号 結城市生徒指導相談員の委嘱について <非公開>

(4) 議案第9号 平成31年度結城市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について
<非公開>

(5) 議案第10号 平成31年度結城市教育支援委員会委員の委嘱について <非公開>

(6) 議案第11号 結城市立学校体育施設開放運営委員会委員の委嘱について

<非公開>

3 報告事項

(1) 報告第8号 教育長報告

○学校教育課長 それでは、皆さんおそろいですので、教育委員会を始めさせていただきます。

資料の確認なんですけれども、本日は、先日、先週金曜日にお配りした 3 月定例会資料のほかに、追加案件ということで 2 ページにあります追加資料、それから、4 番の 3 1 年第 1 回定例会、2 月 2 8 日木曜日からということで、これは A 4、1 枚、それから上山川小学校の案件で 2 枚あります。資料のほうは大丈夫でしょうか。

それでは、本日は定足数に達しておりますので、委員会は成立しております。

それでは、小林教育長に開会宣言をお願いいたします。

○教育長

改めまして、こんにちは。

ただいまから教育委員会 3 月定例会を開会いたします。

会議録署名人の氏名をいたします。

中村委員に署名をお願いいたします。

これより議事に入ります。

次第 2、議案上程は 1 件、さらに追加議案 5 件で、合わせて 6 件でございます。

また、本日の議案 6 件につきましては、全て人事案件でございます。委員の皆様には、結城市教育委員会会議規則第 1 5 条の規定により、非公開としてよろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○教育長

ありがとうございます。

それでは、非公開とさせていただきます。

それでは、これより議事に入ります。

◎議案第 6 号 結城市文化財保護審議会委員の委嘱について <非公開>

<非公開部分削除>

◎議案第 7 号 結城市スクールソーシャルワーカーの委嘱について <非公開>

<非公開部分削除>

◎議案第 8 号 結城市生徒指導相談員の委嘱について <非公開>

<非公開部分削除>

◎議案第 9 号 平成 3 1 年度結城市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について

<非公開>

<非公開部分削除>

◎議案第10号 平成31年度結城市教育支援委員会委員の委嘱について <非公開>

<非公開部分削除>

◎議案第11号 結城市立学校体育施設開放運営委員会委員の委嘱について <非公開>

<非公開部分削除>

◎報告第8号 教育長報告

○教育長 続きます、次第3、報告事項でございます。

案件は1件でございます。

事前にお配りした教育委員会定例会資料、3ページ、4ページをお開き願います。

教育長報告について。

上記のことについて、別記のとおり報告する。

平成31年3月26日提出、結城市教育委員会教育長、小林仁。

平成31年度の定期人事異動のまとめについて1番で、これは前回、臨時の教育委員会でご報告、審議いただいた内容でございます。それをまとめたものでございます。確認をお願いできればと思います。

続いて、2番の平成30年度市内中学生進路状況について、その右から2番目の項目のところに2次学力検査。昨日、2次募集の合格発表がございまして、そこに入れてあります結城中の結城一高、それから結城南中の結城一高、三和、古河三高、いずれも合格というということで、全員が2次募集に志願して合格したということで報告が入ったところでございます。

そうしますと、その合格数が、茨城県立のそれぞれの人数のところに加わっていくというふうに捉えていただきまして、結城中の茨城県立高校は152人ということで、結城南中は107人というようなことで数字が加わるということでもあります。

また、その他のところに、就職とか在宅とか専修学校とかいうような要件がございますので、子供たちの、卒業生の進路がそのようになっているということでございます。

3の卒業式の参加について、小学校の卒業式については、結城小で、男1、女1の卒業生が全体の式には参加できなかったと。また、上山川小学校の卒業生、男子1名、結城西小の男子2名について、卒業式全体には参加できなかったところですが、午後、本人にそれぞれ卒業証書授与を直接行ったということで報告をいただいております。

中学校につきましては、そこにある、結城中は全員式場のほうに参加ができた。直接は証書を壇上でいただけなかった卒業生もいたところす

が、卒業式の式場において、その後渡すというようなことも含めて全員参加ということでございます。結城南中と結城東中については、そこに書いてありますように、6人の卒業生がそれぞれ午前中の式には参加できなかったけれども、午後、本人に直接の手渡しというようなことで、卒業証書を渡すことができたというような状況でございます。

4のその他としまして、31年度の辞令交付式等について、記載のとおりでございます。また、入学式について、中学校、小学校の実施が記述されているところでございます。

以上が、教育長報告で用意したところですが、議会定例会のほうの質疑の、一般質問のほうの内容を一部抜粋しましてまとめさせていただきました。

まず、茨城国体の会場ということで、鹿窪の駐車場やトイレの洋式化について質問をいただいたところですが、駐車場については福井の国体を参考に、最大限の一般の利用、来場者を考えて、鹿窪運動公園の駐車場のほか、アクロスの駐車場や民間の臨時の駐車場も確保していくというようなことでございます。

また、トイレについては、和式から洋式のほうに既に改修済みであると。一部和式は残しながらの改修ではございますが、そういったところでございます。

また、市民情報センターの防犯サポートセンターについての有効活用と、情報センターの向かって右側のところに交番機能的な建屋というんですか、があるところですが、その活用についてということであったところですが、

また、旧公民館の除却または土地利用というようなことについて質問をいただいたところでございます。

続いて、城の内館跡ということで、その茨城県の中世城館跡総合調査というのが新聞報道などでもあったところですが、結城市ではその対象として10カ所、そこに記述してあるところを県のほうに報告をしたと。その調査によって実態が把握され、保存、整備活用に向けた基礎資料になっていくのではというようなことで答弁されたところでございました。

また、城の内遺跡、すみません、今ちょっと続いてしまいました。試掘調査を行って、その後、それを踏まえた詳細な発掘調査を来年度、実施するというようなところでございます。

また、市のほうで所蔵している出土品、古文書、歴史資料についてはどこに保管してあるのだと、さらにはそれが展示はどういうふうになっているかというようなことで質問があったところでございます。今後さらに展示、また保管等についても対応していくことが必要だというようなことでございます。

続いて、中央教育審議会の答申、これは教員の働き方について答申がな

されたと、そのことについてどのように考えているというようなことの質問でございました。各学校で教員の働き方については、さらに教育委員会と連携しながら取り組んでいく必要があるというところがございます。

最後に、学校と地域を結ぶコミュニティ・スクール、学校運営協議会について質問があったところがございます。結城中のほうでことし、加配教員を配置しながら、先進校の視察とか研修会などに参加して、それを校内で、またはこれはP T Aの方なんかも一緒に参加したということでございますので、来年度、学校運営協議会の組織とか協働体制づくりを進めていこうということで、教育委員会と結城中のほうで今後、連携しながら対応していくと。

また、各小中学校区で学校運営委員会、協議会の設置についても議論を深めていくというようなことで、さまざまな学校への支援が、支援をいただいているところですが、そのそれぞれ支援いただいているところの全体のもう少し連携とか、そういうものを含めてより学校を支援できるような体制を充実させていこうと。

コミュニティ・スクールについては、市が指定していく部分で当然、予算化とか規則も定めていかなければなりませんので、その辺についてはこれから丁寧に検討していくというような状況でございます。結城中の取り組みをまずはモデル的に進めていければというふうに考えているところがございます。

以上が教育長報告でございます。ご質問等ございましたらお願いいたします。

中村委員、お願いします。

○中村教育長職務代理者 先般の文科省の研修会議とかがあったんですが、その中の私が出た分科会は地域のコミュニティーづくり。これはよその取り組みというか、かなり進んでいます。というよりも、おくられています、結城市は。

○教育長 茨城がほとんどそういうものに取り組んでいない。

○中村教育長職務代理者 どうしても、やはり情報機関、要するに県が動かないとなかなか動かないというのはわかるんですけども、そういったもの、例えば市長がGOであれば、県はいずれにしてももうどんどん進めていくという、そういう姿勢でも私はいいと思うし、むしろ必要があれば、やっぱり前倒ししてやっていくと。これは有意義なことではあると思う。

結局、地域あるいは学校という、要するに一緒に子供たちを見ていくということに関しては、もう前から言われているところだし、こういったものがやはりちょっと学校としても、今は十分に機能している組織もあるしというふうになっちゃうと、そういうことでその組織、じゃ機能しているかといったら、いや、機能していない。だから、こういう新しい取り組みというのは必要などころで出てきているので、ぜひ。形を変えるというか

そんなに負担にならないような内容に変えていくということもやりながらやっぱり早め早めにやってほしいかなと思います。そういう意識が私ほどもに非常に前に進むのかなと思うので、ぜひ頑張ってください。

○教育長

ありがとうございます。

これ、結城中のほうで、校長さんもはじめ、またPTAの役員さん方も、このことに前向きでいろいろ少し研究して、いろんなPTAだったりおやじの会であったり、また保護者会であったり、さまざまな関係の皆さんが結城中を支えて、地域のあとは自治会であるとか、民生委員さんであるとか、だからそういうものをもっとうまく連携できるような、そういう形をぜひつくっていききたいという、学校のほうの積極的な思いなものですから、教育委員会がやれじゃなくて、まず学校のほうでやってみようというように思いがあるので、一緒になって少しモデル的に、まずは結城中でそういう体制がつけられるような状況をこれから進めていければと。

○中村教育長職務代理者 これは、要は結構機能するようになっていきます、これは。制度的に。評議員会がどうしてもやっぱり、こんなことを言っちゃ失礼だけれども、ちょっと機能しないというか静かな取り組みになってしまったので、静かというのは。

○教育長

先進校にいったときには、学校評議員さんあたりを確認していくといいんじゃないかというようなアドバイスはいただいた。でも、学校の実態に応じた支援体制とか学校のやっぱり教育、みんなで学校を応援していこうというような体制をつくっていけることが大事かなとは思っていますので。

○中村教育長職務代理者 そういう何か外郭、外部組織をやっぱりきちっと構築していくのか、しっかりとやらなきゃいけないとか、それがやっぱり、つくったではなくて機能して初めて子供たちの学校に寄与できる。

私が一番残念に思うのは、PTAの組織なんです。一番古くからあって歴史がある。それがなかなか機能しない。一会員の方々のやっぱり意識がないかもしれないですよ。どうしてもやっぱりリーダーがやっぱり育たないというのは、くじ引きでやっているような状況が、そういうふうになっちゃうんですよ。だから、それは何というのか、親たちの働き方、今やっぱり変わってきているんです。やっぱり皆さん忙しいので、なかなかそういう会合に出てこられないという、できれば避けたいと。そうするとくじ引き。

手なんかもうちょっと挙げて、俺やるよなんていう人がいないと、余り周りから…ないという。ぜひとも、こういうふうになっちゃうと困るんで、もうちょっとPTA、やっぱり学校主導でもいいと思うんです。もっとPTAの親たちのかわりを。

○教育長

結城中のコミュニティーは、PTAの皆さんがかなり積極的にそういうものを、学校評議員会、いろんな皆さん協力しているんですけれども、P

PTAの皆さんがさらにそこへ入って、コミュニティ・スクール、学校運営協議会というようなものを構築していこうじゃないかというようなことで今、動いてくれるということですので、今、中村委員さんからお話があったPTAが機能していないというよりは、それをさらに活性化させようというような状況では動いてくれています。

○中村教育長職務代理者　ちょっと入学式（卒業式）について、ちょっと私、ちょっとごめんなさい、ちょっと脱線しちゃうかも。

変わったのは、私は江川北小学校に行ったの。6年生を励まして送り出してやろうというお話をさせてもらったんだけど、たまたま順番で黒田校長さんが来賓というか来ていたんです。ちょうどいいなと思って、ぜひ南中でも待っていて、気持ちよく受け入れてくれますので、お母さん方、お父さん方と言って、1人で悩まないで早目早目に相談してくださいと。

ちょうど、送り出したほうにも、やっぱりずっと送り出して、これからもさらに見て、子供たちを見守ってやってくださいという話を。ああいうふうに校長さんが、中学校の先生がいるといいですね。一緒にうまく子供を介して、その後もずっと人間教育じゃなくても見ていくという、そういう思いがちょっと生まれたので、用紙と、原稿と違っちゃったんですけども。みんなで見えていかないと。

○教育長　岩崎委員。

○岩崎委員　私も、やっぱり文科省の、あれですよ、学校の教師が担うべき業務の明確化、適正化の分科会だったわけで、これを、前もちょっとお話ししましたけれども、日野市ではそういう話合いを保護者のもととしたと。

これは、さっき中村先生が言われたように、PTAのほう、この要するに保護者の人たちがそういうPTAの集まりか何かでちょっと話し合い、きちんと先生の役割というのは、一番重要なところはどうなんでしょうかとか、ここは専門の、先ほどの任命されたカウンセラーの先生方とかそういう人にお任せしたほうがいいんじゃないかとかというのを、これは家庭の問題でしょうと、恐らくこの3つぐらいに明確にやっていくということなんだとは思っています。

でも、それを、まずその話をするというか話し合ってもらうのは、PTAの総会なり何なりのときにそういうふうに提案をして、先生たちの勤務状況とかそういうのもよく説明をしてやっていくことが今後、必要になってくるのではないかと思います。

それと、やはりその分科会の中であったのは、やっぱりそういう先生方が今までやっていたカウンセリングとかそういうのを専門の人という場合には、そういう人を余計に置いたりなんだりということで予算かかるんじゃないかということはいっていましたけれども、そういう部分も今後、すぐにはなかなかあれでしょうけれども、今後、加味しながら予算化した

り人の配置とかというのもこうなってくるのではないかなというのを考える必要がやっぱり出てくるのではないかなというふうに感じます。

こういう答弁があったということは、今後やっぱり先生方の勤務の改善に非常に役に立つと思うので、こういう意見があったということは非常によかったなと思います。

○教育長

ありがとうございます。

そのほかございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○教育長

それでは、以上で教育長報告は終わりいたします。

以上をもちまして、本日の案件については終了いたしました。

教育委員会3月定例会を閉会いたします。

大変ありがとうございました。

午後14時10分 閉 会

上議事録は事実に相違するところがないことを認め、下に署名する。

結城市教育委員会教育長

結城市教育委員会委員